

木村 太一 (きむら たいち)

〒 223-8526
神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
協生館研究室 26

電話番号: (045) 564-2478
内線: 37522
Email: tkimura@kbs.keio.ac.jp
Web site: <https://ticmrk.github.io/>

学歴

- 2016 年 3 月 一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了 (博士 (商学))
- 2013 年 3 月 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了 (修士 (商学))
- 2011 年 3 月 一橋大学商学部卒業 (学士 (商学))

職歴

- 2021 年 10 月～現在 慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師
- 2018 年 4 月～2021 年 9 月 慶應義塾大学大学院経営管理研究科専任講師 (有期)
- 2016 年 4 月～2018 年 3 月 慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教 (有期)

Working papers

Target Setting under Skeptical Scrutiny (with Hikaru Mitsuhashi)

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=60646214>

Centralize or decentralize? Co-location with accounting precision and incentive power

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=5734862>

Designing calibration committees: Size, standards, and rater bias (with Takahiro Morimitsu)

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=5443702>

The role of loss aversion in multi-rater subjective performance evaluations (with Takahiro Morimitsu).

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=5083726>.

On the use of calibration committees in subjective performance evaluation (with Takahiro Morimitsu).

Revise & Resubmit at *Accounting and Business Research*

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=4290250>.

Conformity pressure and compensation contracts (with Yutaro Murakami).

Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=4113994>.

公表論文・書籍

査読付き学術論文

Kimura, Taichi and Morimitsu, Takahiro. 2023. Cost-based Pricing in Government Procurement with Unobservable Cost-reducing Actions and Productivity. *Asia-Pacific Journal of Accounting and Economics*, 30(2): 373-390.

木村 太一. 2019. 「業績評価情報の伝達・利用が組織アイデンティフィケーションに与える影響に関する定量的研究」『慶應経営論集』36(1): 39-56.

尻無濱 芳崇, **木村 太一**, 劉 美玲, 市原 勇一. 2017. 「形成型尺度開発ガイドラインと管理会計研究への示唆」『一橋商学論叢』12(2): 62-71.

木村 太一. 2014. 「組織文化概念を用いた管理会計研究の現状と展望」『原価計算研究』30(2): 52-64.

査読無し学術論文

木村 太一, 村上 裕太郎. 2022. 「ピア・プレッシャーがインセンティブ設計に与える影響：分析的研究を中心とした文献レビュー」『産業経理』82(2): 111-124.

森光 高大, **木村 太一**. 2021. 「主観的業績評価におけるバイアス：分析的研究のレビューに基づく考察」『西南学院大学商学論集』68(1-2): 65-88.

劉 美玲, 市原 勇一, **木村 太一**, 尻無濱 芳崇. 2015. 「管理会計研究における形成型尺度の利用と現状：構成概念の測定モデルの選択」『メルコ管理会計研究』8(1): 77-87.

木村 太一. 2015. 「組織文化概念を援用した経験的な管理会計研究のレビュー：組織文化観を軸として」『企業会計』67(8): 1179-1185.

その他論文

Kimura, Taichi and Morimitsu, Takahiro. 2017. Government Procurement Contract Design for Encouraging Cost Reduction. *Proceedings of 29th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issue*.

書籍

山根 節, 太田 康広, 村上 裕太郎, **木村 太一**. 2024. 『ビジネス・アカウンティング<第5版>』中央経済社.

木村 太一. 2021. 非営利組織のキャリア・コンサーン. 太田 康広 (編著)『人事評価の会計学：キャリア・コンサーンと相対的業績評価』中央経済社, 第4章, 63-81頁. (分担執筆)

その他原稿

木村 太一. 2023. 「評価とバイアス, その解消」『三田評論』1282: 81.

報告

学会発表

2025 年 12 月: 日本経済会計学会第 6 回秋季大会 (中央大学) “Designing calibration committees: Size, standards, and rater bias.”

2025 年 5 月: 47th Annual Congress of European Accounting Association (Rome, Italy) “The Role of Loss Aversion in Multi-Rater Subjective Performance Evaluations.”

2024 年 11 月: 33rd Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues (Vancouver, Canada) “A calibration committee with a loss-averse agent.”

2024 年 8 月: 第 83 回日本会計研究学会（早稲田大学）“A calibration committee with a loss-averse agent.”

2023 年 10 月: 32nd Asian-Pacific Conference on International Accounting Issues (Gold coast, Australia) “On the use of calibration committees in subjective performance evaluation.”

2023 年 5 月: 45th Annual Congress of European Accounting Association (Helsinki-Espoo, Finland) “On the use of calibration committees in subjective performance evaluation.”

2022 年 8 月: 第 81 回日本会計研究学会（東京大学，オンライン）「主観的業績評価におけるアピールの役割：分析的研究による考察」.

2022 年 8 月: 2022 年度日本管理会計学会（明治大学）「主観的業績評価におけるアピールとコストに関する分析」.

2020 年 9 月: 第 79 回日本会計研究学会（北海道大学，オンライン）「非対称情報下における政府調達契約の設定」.

2019 年 10 月: 31st Asian-Pacific Conference on International Accounting Issue (Warsaw, Poland) “Conformity Pressure and Compensation Contracts.”

2019 年 9 月: 第 78 回日本会計研究学会（神戸学院大学）「個別受注契約における目標原価の設定」.

2019 年 5 月: 42nd Annual Congress of European Accounting Association (Paphos, Cyprus) “Conformity Pressure and Compensation Contracts.”

2018 年 11 月: 30th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issue (San Francisco, USA) “Diagreement and Performance Evaluation Systems.”

2018 年 9 月: 第 77 回日本会計研究学会（神奈川大学）「組織成員の楽観性が業績評価システムに与える影響：数理モデル分析による検討」.

2017 年 11 月: 29th Asian-Pacific Conference on International Accounting Issue (Kuala Lumpur, Malaysia) “Government Procurement Contract Design for Encouraging Cost Reduction.”

2017 年 9 月: 第 76 回日本会計研究学会（広島大学）「原価低減を促す防衛調達契約の設計」.

2017 年 2 月: 日本原価計算研究学会 2016 年度関東部会（石巻専修大学）「非市場性物品の調達における最適な契約形態の設計」.

2015 年 9 月: 第 41 回日本原価計算研究学会全国大会（日本大学）「業績評価指標のコミュニケーションの効果にかんする定量的研究：組織アイデンティフィケーションを媒介変数として」.

2013 年 8 月: 第 39 回日本原価計算研究学会全国大会（専修大学）「管理会計研究における組織文化概念－文献レビューによる考察－」.

研究会報告（2023 年度以降）

2025 年 11 月: 第 98 回分析的会計研究会 (慶應義塾大学), “Designing calibration committees: Size, standards, and rater bias.”

2025 年 11 月: Contract Theory Workshop (立命館大学), “Designing calibration committees: Size, standards, and rater bias.”

2025 年 3 月: 第 18 回 Applied Economics and Management Workshop (新潟大学), “The role of loss aversion in multi-rater subjective performance evaluations.”

2024 年 11 月: 第 67 回 Handai Accounting Research Seminar (大阪大学), “The role of loss aversion in multi-rater subjective performance evaluations.”

2024 年 8 月: 第 97 回分析的会計研究会 (大学コンソーシアム京都), “A calibration committee with a loss-averse agent.”

2023 年 5 月: 第 60 回 Doshisha Experimental Accounting and Finance Research (オンライン), “On the use of calibration committees in subjective performance evaluation.”

2023 年 3 月: 第 94 回分析的会計研究会 (西南学院大学), “On the use of calibration committees in subjective performance evaluation.”

研究助成

「主観的業績評価におけるバイアスの発生メカニズムとその緩和策についての理論的研究」(24K05206) 文部科学省: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)). 研究期間: 2024 年 4 月-2027 年 3 月. 代表者: 木村太一.

「目標達成を条件とした非線形な報酬契約の行動契約理論による分析」(21K13406) 文部科学省: 科学研究費補助金 (若手研究). 研究期間: 2021 年 4 月-2024 年 3 月. 代表者: 木村太一.

「行動契約理論の観点からのマネジメント・コントロール理論の再検討」(18K12897) 文部科学省: 科学研究費補助金 (若手研究). 研究期間: 2018 年 4 月-2021 年 3 月. 代表者: 木村太一.

「同質的な組織のマネジメント・コントロール: 数理モデル分析による研究」(16H07173) 文部科学省: 科学研究費補助金 (研究活動スタート支援). 研究期間: 2016 年 8 月-2018 年 3 月. 代表者: 木村太一.

「マネジャーが有する組織への一体感 (identification) に対して業績測定システムが与える影響にかんする実証研究」メルコ学術振興財団: 2013 年度研究助成金. 研究期間: 2014 年 1 月-12 月. 代表者: 木村太一.

教育実績

担当授業

会計管理 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, MBA 基礎): 2016 年 – 現在.

会計管理 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, EMBA コア): 2018 年 – 現在.

経営管理会計 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, MBA 専門): 2018 年 – 現在.

マネジメント・コントロール特殊講義 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, MBA): 2018 年 – 現在.

マネジメント・コントロール演習 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, MBA): 2018 年 – 現在.

個人研究 A, B, C (慶應義塾大学大学院経営管理研究科, EMBA): 2018 年 – 現在.

作成ケース教材（公開ケースのみ）

- 「Next Step Japan 株式会社」 2025.
- 「プラネットゴルフ」 2023.
- 「管理会計計算ノート」 2021.
- 「綱島金属株式会社」 2021.
- 「小机タイヤ株式会社」 2021.
- 「原価計算の基礎知識」 2020（2024 改訂）.
- 「三菱電機」 2018（森光高大と共著）.
- 「JAL の再建とアメーバ経営」 2016（2023 改訂）.

学会・社会活動

委員等

- 編集委員, 『原価計算研究』, 2025 年 10 月 – 現在
- 特別研究官, 防衛装備庁, 2018 年 6 月 1 日 – 2020 年 3 月 31 日

査読経験

- 原価計算研究, 現代ディスクロージャー研究, 慶應経営論集

所属学会

- 日本会計研究学会
- 日本経済会計学会
- 原価計算研究学会
- 日本管理会計学会
- European Accounting Association